

第2学年 前期中間考査 試験範囲

第1日:6月13日(火)

時 教科	試験範囲	学習へのアドバイス	当日の持ち物 提出物
1 校 時 国 語	○教科書 『虹の足』 p 16～17 『タオル』 p 22～33 『日本の花火の楽しみ』 p 48～52 『敦盛の最期—平家物語—』 p 122～123 ○ワーク p 4～11、 p 19～22、 p 51～53 ○文法 p 52～57 (形容詞・形容動詞) ○漢字 p 4～19	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のテストでも聞き取り問題を出題します。 ・教科書をよく読み、ワークでの演習を繰り返しましょう。その際、記述問題の書き方や選択肢の選び方などを意識しましょう。 ・文法は覚えるべきポイントを確実に押さえて、わからないことをそのままにしないようにしましょう。 ・漢字の勉強は小テストで間違えた字を中心に練習するとよいと思います。 	○ワーク ○文法 ○漢字 該当範囲を丸付けまで行って提出。
2 校 時 英 語	○Unit 0～Unit 2 Scene 2 (5つの文構造, Learning ECONOMICS, Let's Listenを除く) ○教科書 P 4～17, 21～25 ○めきめき English! P 2～35 ○英単 Go! P 8～16	新出英単語、熟語は暗記しましょう。 be 動詞の過去形、過去進行形、There is/are、be going to、will、SV 人もの、SVOC、接続詞などの文法事項は理解できるまで繰り返し学習しましょう。わからないところはそのままにせず、いつでも質問にきてください。	提出物は担当の先生の指示に従ってください。
3 校 時 数 学	○教科書 1年(7章)p. 214～239 ○わかる数学 1年(7章)p. 132～143 ※1年で習った「データの活用」も出題します。 ※提出物に1年のワークは含まれません。 ○教科書 2年 p. 10～38 まで ○わかる数学 2年 p. 2～30 ② ○新数学の基礎練習(ドリル) 45～55	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を表やグラフにまとめたり、代表値を求めたりできるようにしておく。 ・式の計算での文字の扱い方を理解しておく。 ・文字式を利用した「説明」ができるようにしておく。 ・連立方程式とその解の意味を理解して、解のたしかめができるようにしておく。 ・ワークの問題や予想問題を何度も解きましょう。 	○テストで必要 ・三角定規 ・コンパス ○提出物 ・授業ノート ・ワーク ・ドリルノート ワークとドリルノートはまる付けまで行って提出(※期限は教科担任の指示に従うこと)

第2日:6月14日(水)

時 教科	試験範囲	学習へのアドバイス	当日の持ち物 提出物
2 校 時 社 会	○教科書【地理】 p 158～196 ○ワーク【地理Ⅱ】 p 10～31 ○資料集【地理】 p 112～149 ○授業プリント ○船テ	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書をよく読み、ワークを繰り返し解きましょう。 ・漢字で習った語は、漢字で正しく書けるようにしておきましょう。 	○ワークプリント <u>14日(水)</u> <u>最終締め切り</u>
3 校 時 理 科	< 1年の内容 > ○教科書 P86～125 (3章火山、4章地層の内容) ○ワーク「よくわかる理科の学習1」 →火山と地層の範囲 < 2年の内容 > ○教科書 P140～190 ○ワーク「よくわかる理科の学習2」 P60～77、85～93 (4章の内容は除く) ○授業ノート、プリントなど	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークは数回解きましょう。 (1回目)何も見ずに解く、分からない&間違えたところの問題をチェックする。 (2回目以降)↑のチェックした問題を解き直す。 など… ・ワークは1ページごとなどこまめに丸つけをしましょう。 ・ノートやプリントも必ず見直しましょう。 ・語句を覚えるだけでなく、意味を説明できるまで理解しましょう。 ・反復学習を心がけましょう。 	㊦三角定規 ○ワーク <u>14日(水)</u> <u>最終締め切り</u>